

## 学校経営推進費 評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

<b>学校名</b>	大阪府立八尾高等学校 全日制の課程
<b>取り組む課題</b>	生徒の希望する進路の実現
<b>評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路実現満足度の向上：30ポイント以上向上させ3年後に70%（平成29年度41%）</li> <li>・ 国公立大進学者数増加：現役国公立大学進学者数を3年後に倍増（平成29年度36人）</li> <li>・ 進路指導満足度の向上：大学入学者選抜改革への対応強化で3年後に90%（平成29年度76%）</li> <li>・ 生徒の授業満足度向上：ICT活用のAL充実等の取組強化で3年後に平均3.3（平成29年度3.16）</li> </ul>
<b>計画名</b>	3年後に「サクラサク」 八尾高伸び率最大化プロジェクト

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「夢と志を語る力」の育成             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 系統的進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応）</li> <li>(4) アドバンス教育コースの充実</li> </ol> </li> <li>2 「努力し続ける力」の育成             <ol style="list-style-type: none"> <li>(2) 課外学習時間の増加 ⇒ R4年度には2時間／人・日</li> <li>(3) 学力生活実態調査R2年10月時点成績の向上 ⇒R4年度には45%</li> </ol> </li> </ol>
<b>事業目標</b>	<p>本校では平成30年度から1, 2年生全員にGTECを受験させるなど大学入学者選抜改革への対応を進めている。また、新たな授業力向上方策や生徒の学習時間増加に向けた取組み、今後増加する国公立大学推薦入試対策等生徒の進路実現満足度向上に向けた準備も着実に進んでいる。</p> <p>このタイミングで、2年生のホームルーム教室へのプロジェクターの設置を行う。このことにより、生徒の授業満足度はもちろん進路指導に関する満足度も向上させ、本校生徒の多くが希望する国公立大学への進学者を大幅に増加させること（伸び率の最大化）を目標とする。</p>
<b>整備した 設備・物品</b>	「2年生ホームルームのICT環境整備」：短焦点型プロジェクター8台設置（設置費込）
<b>取組みの 主担・実施者</b>	<p>主担者：「希望進路実現PT」（校長、教頭、首席、進路指導主事、学年主任、情報主担、若手教員若干名）</p> <p>実施者：1年め：全教員の5割→2年め：全教員の7割→3年め：全教員</p>
<b>本年度の 取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナによる一斉臨時休業中にプロジェクターを活用した授業動画を「学年ブログ」で配信</li> <li>・ 分散登校時にプロジェクターを活用し、教室間で同時双方向型授業を実施</li> <li>・ 体育館での密集を回避するため、プロジェクターを活用しZoomで全校集会を実施</li> <li>・ 学校説明会時の参加者の密集を避けるため、プロジェクターを活用して複数教室で同時に学校紹介動画を映写</li> <li>・ 「総合的な探究の時間」のシミュレーションに教室のプロジェクターを活用</li> <li>・ すべての教科でプロジェクターを活用した授業を実施</li> </ul>

<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 進路実現満足度 70% (H29 : 41%, H30 : 85.2%, R1 : -%)</li> <li>② 国公立大学現役合格者 72 人以上 (H30 : 37 人, R1 : 53 人, R2 : 62 人)</li> <li>③ 進路指導満足度 (学校教育自己診断/生徒) 90%以上 (H29 : 78.7%, H30 : 80.5%, R1 : 78.7%)</li> <li>④ 授業満足度 (授業アンケート) 3.3 以上 (H29 : 3.16, H30 : 3.20, R1 : 3.25)</li> </ul>
<b>自己評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 進路実現満足度 ..... 80.1% (◎)</li> <li>② 国公立大学現役合格者 ..... 73 人 (○)</li> <li>③ 進路指導満足度 (学校教育自己診断/生徒) ..... 78.9% (△)</li> <li>④ 授業満足度 (授業アンケート) ..... 3.36 (◎)</li> </ul>
<b>事業のまとめ</b>	<p>4つの評価指標のうち②の「国公立大学現役合格者」は、本事業初年度に当たる平成30年度に37人であったところ2年め(令和元年度)に53人と伸び、2年めにあたる令和2年度には、センター試験が開始された平成2年度入試以来最多となる62人に到達した。令和3年度入試の結果は、さらにそれを上回る73人であった。</p> <p>また、進路実績の伸長に合わせて①の「進路実現満足度」も向上し、目標数値を10%以上上回る結果となった。</p> <p>一方、③の「進路指導満足度」は目標に達しなかったが、その背景として、学校教育自己診断の実施時期が、近年増加傾向にある国公立大学受験生徒に対して受験先の最終決定等重要な進路指導の前であったことの影響が考えられる。</p> <p>④の授業満足度については、多くの教員が本事業で整備したプロジェクターを活用した授業を実施し、令和2年度にはその割合が96%に達したことが奏功したと分析している。</p>